

10倉敷フォトミユラル関連企画

FOR HIGH SCHOOL STUDENTS

PHOTO STADIUM

写真がもっと好きになる プロから教わるワークショップ 「フォトスタジアム」

PHOTO STADIUMは、単に写真を撮る事を楽しむ事から一歩進み、良い写真作品とはどういうものなのか、それを作り出していくにはどうしたら良いのかという事について、より積極的に写真作品の制作に取り組む高校生に対して、ワークショップを実施し、理解と経験を深めてもらうことを目的とします。

★ WORKSHOP ワークショップ

このワークショップは、参加者全員が写真作品を応募することを目的に行います。応募作品は、ワークショップ内で制作したもの以外に、過去のワークショップ参加者からも募ります。ワークショップは2日間の日程で行います(A・Bコース)。また、過去のワークショップ参加者を対象に、講師による講義や、各自で持参した作品の講評時間を設け、更に発展したレクチャーを行います(Cコース)。



ワークショップの撮影の様子



日時: Aコース《2010年8月7日(土)、8日(日)》各日9:50~16:00
Bコース《2010年8月9日(月)、10日(火)》各日9:50~16:00
Cコース《2010年8月8日(日)[予備日10日(火)]》12:30~16:00
※A・Bコースとも内容は同じ
※Cコースは2008年度、2009年度の参加者のみの募集

会場: 倉敷市文化交流会館、倉敷美観地区
定員: <A・Bコース>各15名ずつ
<Cコース>若干名(2008年度、2009年度のPHOTO STADIUM参加者)

条件: 中四国の高等学校・高等専門学校に在籍している学生
参加費: 500円(A・Bコースのみ 傷害保険代+飲み物、お菓子代)
持参物: <A・Bコース>昼食(2日分)
<Cコース>写真作品(印刷されたもの、データ、ネガ等)
撮影したデータが必要な方はCD-R・DVD-R(翌日コピーしお渡します)

申込締切: 2010年6月30日(水) 必着
主催: 倉敷フォトミユラル実行委員会/岡山県立大学/アルスクらしき/倉敷市倉敷商工会議所くらしきTMO

機材協力: キヤノンマーケティングジャパン株式会社
使用機材名(予定): カメラ(EOS Kiss X4) プリンタ(PIXUS MP990) ペーパー(キヤノン写真用紙絹目調)

当日の予定

▶ 1日目 / 8月7日(Aコース)、9日(Bコース)

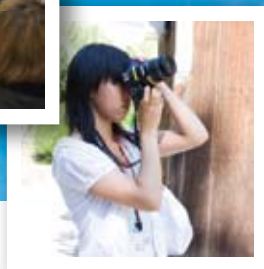
09:50	レクチャー	写真やデジタル一眼レフカメラの使用方法についての説明
11:30	昼食(各自持参)	
12:00	撮影	実際に一眼レフカメラを使って、倉敷美観地区を中心に屋外での撮影
14:15	第1回写真出力 セレクション	インデックス一覧を出力後、各自でセレクションし、写真を出力(2Lサイズ10枚程度)
16:00		

▶ 2日目 / 8月8日(Aコース)、10日(Bコース)

09:50	第2回写真出力 セレクション	グループ内での話し合いを通し、再度写真を見直し、その際必要に応じて写真を出力(2Lサイズ10枚程度)
11:40	昼食(各自持参)	
12:15	最終出力 講評(作品制作)	個人アドバイスを踏まえて応募作品を制作(1人10枚程度/A4サイズで提出)
15:00	特別講義	「写真の保存」「写真をより良く魅せる」といった内容を実際に手を動かしながら学ぶ
16:00		

▶ 8月8日(Cコース)

12:30	講評	作品は、出力したものやデータ、ネガ等を持参する
14:00	講義 個人アドバイス	応募作品の制作(1人10枚程度)
16:00		



★ EXHIBITION 展示

応募された作品は、倉敷フォトミュラルのディレクターである飯沢耕太郎氏の審査を経て、グランプリ受賞者は写真展を開催できます。写真展に関するデザイン、構成はSAKURA Project(岡山県立大学デザイン学部)が全面的にサポートします。また、グランプリを含め優秀な作品は、選出後に講評会が行われます。

応募資格：2010年度ワークショップに参加した高等学校、
高等専門学校に在籍している学生
以前にワークショップに参加し、現在高等学校、
高等専門学校に在籍している学生

応募枚数：1人10枚程度

展示期間：2010年10月23日(土)
(予定) 11月5日(金)

会場：天満屋倉敷店

講評会：2010年10月24日(日)
会場：倉敷市芸文館

※展示・講評会につきましては、後日ワークショップ参加者に詳しい内容を資料でお送りします。



展示の様子

審査員・講師紹介



飯沢 耕太郎
展示審査員

写真評論家。「写真的思考」「増補 戦後写真史ノート」など著書は50冊を越え、「アサヒカメラ」等の雑誌でも執筆している。「写真新世紀」を始め、多くの写真コンテストで審査員を歴任。現在最も影響力の強い写真評論家といわれる。



川名 廣義
講師

キヤノンEOS学園講師。キヤノンに入社以来多くのプロ写真家との付き合いを重ねキヤノンサロンでの展示を希望する写真家・写真家志望の作品を審査するなど、鋭い写真眼を養ってきた。また、全国の高校生がしのぎを削る写真甲子園の審査員も務めた。



北山 由紀雄
講師

岡山県立大学デザイン学部准教授。県展の審査員も務める。2004年からは写真公募企画展「倉敷フォトミュラル」を主宰し、地域・写真界の発展に力を尽くしている。斬新な展示方法や企画形態は、各方面から好評を得ている。



山崎 信
講師

元P.G.I.ディレクター。写真専門ギャラリーのディレクターとして、国内外の歴史的な写真家の作品を展示販売してきた。現在写真コンサルティングとディーラーを務める。株式会社フォトクラシック代表取締役。日本大学芸術学部非常勤講師。

▶ エントリー方法

別途資料「写真ワークショップエントリー方法」のチラシをご確認の上、お申し込み下さい。エントリー方法のチラシは倉敷フォトミュラルのホームページからもダウンロードできます。

申込締切：2010年6月30日(水)

【お問い合わせ先】

SAKURA Project / 担当 木口(岡山県立大学デザイン学部学生)
TEL・FAX:0866-94-2068(TEL/平日10:00~18:00/土日不可)
E-mail:sakura@dgn.oka-pu.ac.jp

'10倉敷フォトミュラルHP
▶ <http://arsk.jp/photomural>



本企画は、岡山県立大学アクティブキャンパス事業として実施します。